

## 第22回令和7年度 第3回 庄内学園学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月10日（月） 14時00分～15時30分
- 2 開催場所 庄内学園 会議室
- 3 出席委員 日置宇津広 佐藤眞悟 木村裕子 山中千恵子 徳増祐志 後藤いづみ  
日置 覚 荻 靖義 宮本優子  
オブザーバー 笹竹厚志（庄内協働センター所長）
- 4 欠席委員 山本真哉 石塚健次
- 5 学 校 夏目聡美（校長） 横山勝之（教頭） 黒田美知代（主幹教諭）  
福島都代（教務主任） 加茂真衣子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 なし
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 加茂真衣子（CSディレクター）
- 9 議長の選出

第1回学校運営協議会の中で、年間を通して議長は徳増委員にお願いすることで、異議なく承認済みであることを、確認。

### 10 前回の会議録確認

司会より、前回会議録（資料2）についての報告があった。

### 11 協議事項

- （1）特色ある学校づくりについて
- （2）学校運営に必要な支援について
- （3）令和8年度学校運営協議会の委員について

### 12 会議記録

司会より、委員総数11人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）特色ある学校づくりについて

夏目校長より、2学期の庄内学園の様子について、異学年交流、アクティブタイム、総合的な学習の時間の取り組みなど、小中一貫校ならではの活動を中心に、写真を提示しながら説明があった（資料2）。

続いて黒田より、全国学力学習状況調査の結果について説明があった（資料3）。説明を受けて次のような質問があった。

○ 弱いところをどうアプローチしていくか。【徳増】

→具体的な方策を職員で話し合い、学園だよりで保護者にお知らせする。【黒田】

#### （2）学校運営に必要な支援について

横山教頭より、休日の部活動の地域展開について、資料4・資料5・市教委からの映像資料を提示しながら説明があった。説明を受けて次のような質問や意見があった。

○ 庄内中学校は今後どうしていくのか。【徳増】

→今の7年生が8年生になった時が重要。保護者にはさくら連絡網で最新の情報を発信していく。今クラブチームがあるのは、男女バレー、野球で、保護者が行っている。それ以外はない。【横山】

○ はまクルの説明会のスケジュールは。【日置宇津広】

→11/21 可美総合センター、11/26 浜松アリーナなど、今後の予定を伝えた。市から配信されていることや、6.7年生には紙媒体で配付したことを伝えた。【横山】

○ さくら連絡網だと保護者にしか伝えられないので、QRコードを回覧版で回すといいと思う。

【日置宇津広】

○ 地域展開になったとき、どうなっていくのか心配。学校からの宣伝も頑張ってもらいたい。

【佐藤】

○ 浜松市は他の県や市に比べ、学校に任せてしまっている。浜松市全体で動かさないと進まないし、無責任。本気度が伝わらない。学校で議論をするのは寂しいこと。【荻・徳増】

○ 庄内小と村櫛小の昨年度の6年生（現7年生）と、庄内中の7年生（現8年生）にアンケート調査をしたところ、半分かくらいの子は部活に入ろうと思っていないという現状。【横山】

○ 部活がやりたくて先生になった人には継続させてあげたいので、平日の部活の顧問が、休日のクラブの顧問もやるといい。地域展開がうまくいくには、5.6年かかると思う。【徳増】

続いて横山教頭から、登下校の見守りについて、見守り隊の方の中には年齢的にこれ以上できない方が出てきており、保護者などが、見守りへ参加ができないかと話があった。

○ 舘山寺は、朝の時間なら70歳以上の方が協力可能。自治会からの呼びかけが必要。【佐藤】

○ 自転車のマナーが悪く心配である。安全教室を年度初めだけでなく年度途中にもできるとよい。【横山・宮本・日置宇津広】

### （3）令和8年度学校運営協議会の委員について

日置会長から、今年度で任期が終了になる方の確認や、委員選出のルールについての説明があり、また、後任の方を推薦していただける方はぜひ学校へ伝えてほしいとのお願いがあった。

## 13 その他の報告・連絡事項等

司会より、学校支援ボランティアの活動紹介（資料6.7）、PTAだよりの紹介（資料7）、学校運営協議会自己評価についてのお願い（資料8.9.10.11.12）があった。また、次回会議は令和8年2月16日（月）14：00から会議室で開催することの連絡があった。